

認知症核医学検査を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

「人工知能技術を利用した認知症診断に用いられる核医学検査の高精度化」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院放射線部では、2015年1月1日から2026年3月31日までに、認知症診断の検査である脳ドパミントランスポータシンチグラフィ（以下ダットシンチ）および感神経心筋 meta iodobenzyl guanidine シンチグラフィ（以下心筋 MIBG シンチ）を行った患者さんを対象に、カルテ等の診療情報から得られる情報／画像データをもとに研究を実施しています。この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2015年1月1日から2026年3月31日までに、鳥取大学医学部附属病院放射線部において、認知症診断の検査であるダットシンチおよび心筋 MIBG シンチを行った患者さんのカルテ、画像データなど（以下、「カルテ等」といいます）から、情報を集めさせていただき、検査精度向上と標準化のため、スキャン方法、再構成方法、解析方向、解析結果の臨床評価を行い、さらに人工知能技術を利用した新しい診断手法の可能性について検討を行うことを目的とした研究を行っています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院放射線部で集計されます。また、画像データは、鳥取大学医学部附属病院放射線部で定量値の測定を行います。なお、情報／画像データは、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報／画像データ

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

ダットシンチおよび心筋 MIBG シンチの結果（出力画像、判定量値）

検査時所見（年齢、性別、体重、身長、画像所見、放射性医薬品の投与量、確定診断名）

【画像の情報】

ダットシンチ画像および心筋 MIBG シンチ画像

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2027 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報／画像情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化 *され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益：今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は将来、新しい診断手法の確立につながり有益となる可能性があります。なお情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等はありません。

不利益：カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報／画像データが医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報／画像データは、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報／画像データは、当該研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報／画像データを研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めるすることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記の問い合わせ窓口までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはできません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院放射線部の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがあります、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報／画像データが研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報／画像データの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

研究責任者：奥田 恭平、鳥取大学医学部附属病院 放射線部

鳥取県米子市西町36-1、電話：0859-38-6843、FAX：0859-38-6843、

k-kobayashi@tottori-u.ac.jp

* この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲示しております。（URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction//>）